

日刊 建設工業新聞

1月14日

水曜日
第18619号

2015年1月14日 3面

連結売上高155億円に

中期計画目標値引き上げ

オオバ

オオバは13日、16年5月期までの中期経営計画で、売上高などの数値目標を上方修正した。公共、民間ともに需要拡大が続き業績が好調に推移。最

終年度の目標を1年前倒しで達成できる見通しが立ったことから、連結、単体とも新たな目標を設定した。連結ベースの数値目標は16年5月期で売上高営業利益率は修正

前147億円)、営業利益と経常利益が9億10百万円(7億円)、純利益が7億50百万円(6億円)。

前の4・7%が5・8%となる。

同社は14年5月期から3カ年の中期計画を策定し、得意とする街づくり分野での業容拡大、地域創生業務や2020年東京五輪関連業務への参画、海外展開に向けた準備などに取り組んできた。東日本大震災の復興関連業務が堅調に推移し

ていることに加え、国土強靱(きょうじん)化に関連する業務の増加、景気回復に伴う民間需要の拡大などを受け、業績が好調を維持していた。

数値目標の引き上げに伴い、同社はこれまでの重点施策とともに、福島県内での震災復興関連業務の受注と街づくりへの関与、自治体や民間の遊休資産活用への参画などを推進。遊休資産活用では、未利用国有地管理業務で得たノウハウを生かし、売上高に占める土地管理業務の割合を20%以上に引き上げる。

単体ベースの16年5月期目標値は、▽売上高149億円(修正前140億円)▽営業利益9億円(6億70百万円)▽経常利益9億円(6億60百万円)▽純利益7億50百万円(5億70百万円)。

単体ベースの16年5月期目標値は、▽売上高1